

ひやく　しゃく　かん　とう
百尺竿頭

札幌市青少年山の家便り

第2号

平成22年 9月1日 発行

札幌市青少年山の家 野外教育専門員
増子 義仁

一般ご利用者の皆様へ

～ 野外活動の楽しさ ～

「今の子どもたちは体験不足です。」「自然体験が子どもたちを育てるのです。」etc・・・というようなフレーズを耳にしたことのある方はとても多いのではないのでしょうか。また同時に「昔は、真っ暗になるまで野山を駆け回って遊んだものだ。」「最近では、子どもたちを安心して自然の中で遊ばせられる場所がなくなってしまった。」というようなことを嘆いておられる方もたくさんいらっしゃるように思います。

札幌市青少年山の家では、そのような皆様のニーズにお応えできるよう、幼児からシルバー世代まで幅広い年齢層の皆様に楽しんでいただけるよう、季節ごとの自然を満喫できるハイキング、藻岩山と同程度の539.2mの頂上から札幌市内を一望できる野牛山登山、カレーライスやジンギスカンなどの定番メニューをそろえた野外炊事体験、天文台を利用した星空観察、自然物を活用したクラフト体験、思いっきり心を開放して楽しむキャンプファイヤーなど様々な体験活動プログラムをご用意しております。

なんと言っても、自然の中での体験活動は子どもたちにとっても大人にとっても楽しいのです。太陽の光を浴びながら、大好きな虫を見つけたり、鳥の声を聞いたり、美しい花に感動したり、川の冷たさを感じたり、と五感をフルに使って活動することは子どもが本来持っている遊び心を刺激する素晴らしい教材であり、大人にとっては忙しい日常を離れストレスを解消し自分をじっくりと見つめ直す機会となります。

また、当館ではこのような皆様の活動をサポートするため野外活動ボランティア、植物ボランティア、天文ボランティア、陶芸ボランティアの4種類のボランティアの方々に登録をいただいております（有料）ので、お気軽にお申し込みいただき、お楽しみいただければと思います。



【ネジバナ】

この他にも主催キャンプ事業の実施、各種ボランティアの育成、新規プログラムの開発、活動支援資料の作成と提供など、どなたでも安全に野外活動を行えるよう全職員で日々努力しております。

是非、ちょっと勇気を出して自然の中に飛び出してみませんか。札幌市青少年山の家は、皆様のご利用を心よりお待ちしております。

教育関係者の皆様へ

～ 自然体験活動の価値について ～

【自然体験活動の重視】

平成20年7月1日に文部科学省より出された『教育振興計画』の第3章—今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策—の中に、「小学校で自然体験・集団宿泊体験を全国の児童が一定期間（例えば1週間程度）実施できるよう目指すとともに、そのために必要な体験活動プログラムの開発や指導者の育成を支援する。」と明示されています。また、新学習指導要領にも「体験活動の充実」が提示され、子どもたちの社会性や豊かな人間性を育むため、その発達段階に応じて小学校では「集団宿泊学習」を重点的に推進することとしています。

【自然体験活動の効果】

独立行政法人国立青少年教育振興機構などのこれまでの調査研究により、

- ① 子どもの頃の体験活動が豊かなほど、学力が高い。
- ② 子どもの頃の体験が豊富な大人ほど、やる気や生きがいを持っている人が多い。
- ③ 子どもの頃の体験が豊富な人ほど最終学歴や年収が高い。

ということが、数値として明らかになってきています。最終学歴が高いことが全て良いわけではありませんが、明らかにやる気を持って前向きに生きていこうとする『生きる力』が体験活動によって培われている、とあってよいと思われまます。

【自然体験活動が与えるもの】

自然体験・集団宿泊体験は、子どもたちに様々なものを与えてくれます。

- ① 見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触るという『五感』を十分に使った活動により感性を磨く。
- ② 一人ではできない活動の中で、自ら進んで行動したり他者とコミュニケーションをとったりしなければならぬ『必然性』が生まれてくる。
- ③ 一人一人の子どもたちに「ワクワク、ドキドキ」を生み出す『非日常体験』となる。
- ④ 仲間と達成感（成功体験）を味わうことにより、『自己肯定感』が生まれる。
- ⑤ 早寝早起き朝ごはんの徹底により、『基本的な生活習慣』が身に付く。
- ⑥ これまで、知らなかった・できなかった・やったことがなかった新しい体験を味わえる。
- ⑦ 本物の自然（植物・野生動物など）と触れ合う。

このような、体験の積み重ねが、上記のような『生きる力』の育成に結びついていくのです。

【自然体験活動の価値を高めるために】

指導者の皆様は活動を計画する際には、「ねらいをしっかりと持つ」「子どもたちの実態に合ったゆったりとしたプログラムを構築する」「荒天プログラムを必ず組む」「事前下見をできれば複数回（1か月前と直前）実施し、リスクマネジメントを行う」「活動のふりかえり（価値付け）を必ず行う」などの配慮をしっかりと行うことが、自然体験活動の価値を更に高めることにつながることをご理解いただきたいと思います。

9月の事業予定

◆9月5日(日)及び12日(日)

【第1回自然観察&陶芸教室】

山の家陶芸ボランティア指導の下
自然観察をしながら見つけた植物
を活用した陶芸作品を制作
対象：個人または親子(30名)

◆9月23日(木) 秋分の日

【第2回自然観察ハイキング】

山の家植物ボランティアガイドの下
3コースの秋の自然を満喫
対象：どなたでも(40名)

長期自然体験モデル事業

トライキャンプ

8月1日～4日まで、3泊4日で小学校高学年
児童を対象にトライキャンプを実施しました。野
外炊事や木登り体験などの活動を通して、自然と
触れ合いながら仲間との協力関係を深め、3日目
の支笏湖までの27kmのハイキングをみんなでや
り遂げる素晴らしいキャンプとすることができま
した。



山の家では、このよう
な事業を今後も数多く
実施いたしますので
是非ご参加ください。

【8月利用者アンケートより】

- 五感を使って、自然体験を体感することができました。
- 子どもの活動が毎年成長とともに変化し、いろんな楽しみ方があるので、是非毎年利用
したいです。
- ▼ 見ごろの植物についての資料を増やして欲しい。
→ 現在提供中の植物カードの種類と数を、近日中に増やす予定です。
- ▼ ハイキングのコースを増やして欲しい。(短めのコースを)
→ 1時間弱でまわれる約2kmのハイキングコースを新設いたしました。

【植物豆知識】

まだまだ厳しい残暑が続いていますが、あっという間に秋がやってきます。秋の自然を楽しむ
代表といえば『モミジ』。ですが実は『モミジ』という木はないのをご存知ですか？ 紅葉する
カエデの仲間を総称して『モミジ』と言うのです。秋に草木が紅葉することを意味する「もみづ
れ」という言葉から『モミジ』と呼ばれるようになったと言われております。

山の家周辺では「イタヤカエデ」「ハウチワカエデ」などが数多く見られます。カナダや北米の
「メープルシロップ」は「サトウカエデ」の樹液を煮詰めたものです。日本では「イタヤカエデ」
の樹液が一番甘いそうです。雪どけの頃、「イタヤカエデ」の樹液をそっと指で取って、味見を
してみるのもいかがですか？



発行者： 札幌市青少年山の家 指定管理者 財) 札幌市青少年女性活動協会
住所 〒005-0862 札幌市南区滝野247番地
電話 011-591-0303 FAX 011-591-0394
URL <http://www.sapporo-yamanoie.jp>